

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No.369
令和4(2022)年3月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142

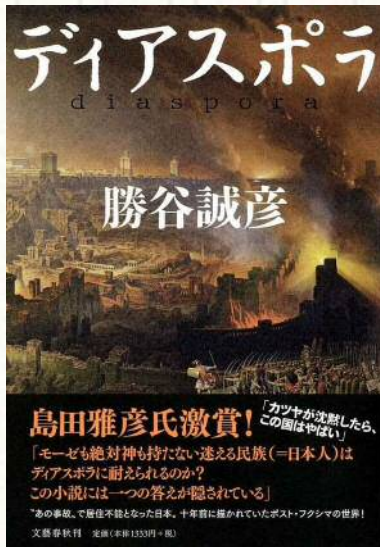


図書館ホームページアドレス

<https://www.amagasaki-library.jp/>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第25回



勝谷 誠彦 (かつや・まさひこ)

コラムニスト・作家

1960年、尼崎市生まれ。

早稲田大学第一文学部文芸科で作家の平岡篤頼に師事。在学中に『早稲田文学』に小説『きんぎょ』を發表したことを機にデビュー。企業への勤務を経て、写真家・コラムニスト・コメンテーターなど、活躍の場を広げる。2017年には兵庫県知事選に立候補。2018年、肺不全のため死去。

主な著作に『イラク生残記』（講談社）『彼岸まで。』（光文社）『獺祭 天翔ける日の本の酒』（西日本出版社）『64万人の魂兵庫知事選記』（西日本出版社）など。

作品紹介

「ディアスポラ」 文藝春秋 2011年発刊

ある“事故”により、居住不能になった日本列島。

世界中の国々に難民として散らばった人々は苦しい状況のなか、日本人として必死で生きようとしていた。その姿を目の当たりにした国連職員の“私”の視点で描く「ディアスポラ」の他、過酷な環境にも関わらず日本に残ることを選択し、酒造りを再開させようとする酒蔵の息子を描いた「水のゆくえ」を収録。

「日本人」とは何か、アイデンティティーを問うた作品です。

～ 特集コーナー紹介 ～

今年の3月1日は 「芥川龍之介生誕 130 年」

芥川作品をはじめ、彼と親交のあった作家など
芥川龍之介について知ることができる本を集めた
特集コーナーを設けています。

この他にも、中央図書館エントランスでは毎月、季節や話題の
テーマに関する資料を集めた特集コーナーを設けています。
ご来館の際は、ぜひご覧ください。



画像出典
国立国会図書館「近代日本人の肖像」
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)



レオナルド・ダ・ヴィンチ 素描集と解剖手稿

～生誕570年記念～

常設ミニ展示

今年の4月15日は、“万能の天才”と称されたレオナルド・ダ・ヴィンチの生誕 570 年に
あたります。そこで今回の展示では、図書館が所蔵する貴重書の「素描画」や「解剖手稿」
の紹介とともに、その仕事や生涯について知ることができる資料を集めました。

期間：3月30日(水)まで 場所：2階 エントランス

中央図書館100周年記念事業

みんなのおすすめ本
教珠つなぎ

第22回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げる
リレー企画です。高須 光聖さん(放送作家)から推薦された方は…



しもだ まさかつ
下田 昌克さん
(絵描き・アーティスト)

『夜が明ける』

西 加奈子 / 著 (新潮社 2021 年刊)



今読み終わったばかりの本なのですが、ガツンときて
他の本が思いつかないです。みんな読めばいいのに。
ぼくは強くて優しい人間になりたいと思いました。

レファレンス室から

～新刊紹介～

『石と地層と地形を楽しむ はりま山歩き』

(神戸新聞総合出版センター)

2021年11月発行



神戸の西から岡山との県境まで、兵庫県西北部の代表的な山歩き27コースの、地盤の特徴や成り立ちなどのわかりやすい説明と地形や植物などの写真たっぷりのガイドブック。岩石のミニ図鑑も収録されており、ひと味違うハイキングを楽しめそうな一冊です。

この資料は3階レファレンス室で
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では、調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

キュン…

擬音語・擬態語の成立に
ついて書かれた本を見たい。

ざわざわ

現実の物音や声を音で表した言葉を「擬音語」、音のない仕草や動作をそれらしい音で表した言葉を「擬態語」といいます。『日本語オノマトペ辞典』(小学館)には擬音語・擬態語の歴史の変遷の詳しい解説が収録されており、『現代擬音語擬態語用法辞典』(東京堂出版)、『擬音語・擬態語辞典』(角川書店)にも成立についての解説ページがありました。その他、『五感を探るオノマトペ』(共立出版)などの関連資料をご紹介します。

こんな本 入りました

～一般室の本棚から～

『土葬の村』

高橋 繁行／著 (講談社)



昭和の終り頃に姿を消したとされる日本伝統の弔いの文化「土葬」。火葬が一般的になった現在にあってなお土葬の風習が残る村の記録を、30年以上に渡って調査した著者が記した1冊。

『塩の湿地に消えゆく前に』

ケイトリン・マレン／著 国弘 喜美代／訳

(早川書房)



他人の強い思いをビジョンとして視ることができる少女クララは、ある時、不吉なビジョンを視てしまい…？女性たちを救おうと足掻く少女を描いたエドガー賞受賞のサスペンス。

『挑戦 常識のブレーキをはずせ』

藤井 聡太・山中 伸弥／著 (講談社)



研究者と棋士という異なる分野の第一線で活躍し、挑戦し続けるふたりの学び方や、メンタルの持ち方、AIとの向き合い方とは。彼らが贈るメッセージが「強さ」とは何か、教えてくれます。

『田辺聖子 十八歳の日の記録』

田辺 聖子／著 (文藝春秋)



2019年にこの世を去った作家・田辺聖子。彼女は戦時下を、そして終戦後の日々をどのように過ごしたのか。作家を目指した18歳の田辺聖子が残し、75年の時を経て発見された奇跡の日記文学。

3月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 ◆
6	7	8	9 ●	10	11	12 ◆
13	14	15	16	17	18	19 ◆
20	21	22	23 ●	24	25	26 ◆
27	28	29	30	31		

開館時間 **9:00～20:00**

※ □ 印は休館日です。

※ ○ 囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。

朗読の会 おはなし玉手箱

対面朗読ボランティア 花みずき

日時 3月1日(火) 午後2時～3時
(毎月第1火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 『稲むらの火』中井 常蔵/作(他)
※次回は4月5日(火)です。

◆おはなしの会

14:10～14:25 子ども(0～3歳くらい)と保護者

14:30～14:50 4歳くらい～小学生と保護者

●コアラくらぶ

11:00～11:20 0～3歳と保護者



詳細はホームページまたは子ども向け図書館だより
「本と友だち」をご覧ください

●● 感染拡大防止対策にご協力ください。 ●●

図書館では、感染拡大防止に努めながら図書サービスを実施しています。

ご利用に際しましては、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- ◆ 発熱または風邪の症状がある方は、来館をご遠慮ください。
- ◆ 来館の際にはマスクを着用し、咳エチケットの徹底と手指の消毒をお願いします。
- ◆ ご用がお済みになり次第、ご帰宅をお願いします。
- ◆ 館内で食事はできません。
- ◆ 館内の滞在人数が一定数を超えた場合は、入場制限を行うことがあります。

担当者のつぎやき

今年に入ってから読書ノートをつけています。今まではスマホで記録していたのですが、お気に入りのノートを活用したくて読んだ本の印象に残った文や感想を書き込んでいっています。記憶に残り、振り返って読むのも楽しく一石二鳥です。(H.S)



4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30